

# 北陸の地層 学ぶ講演会

能美で金大教授

北陸の地層について学ぶ講演会が、能美市辰口図書館であり、金沢大環日本海地域環境研究センターの塚脇真二教授が日本海形成の歴史や、地層に由来する地域の石の文化について解説し

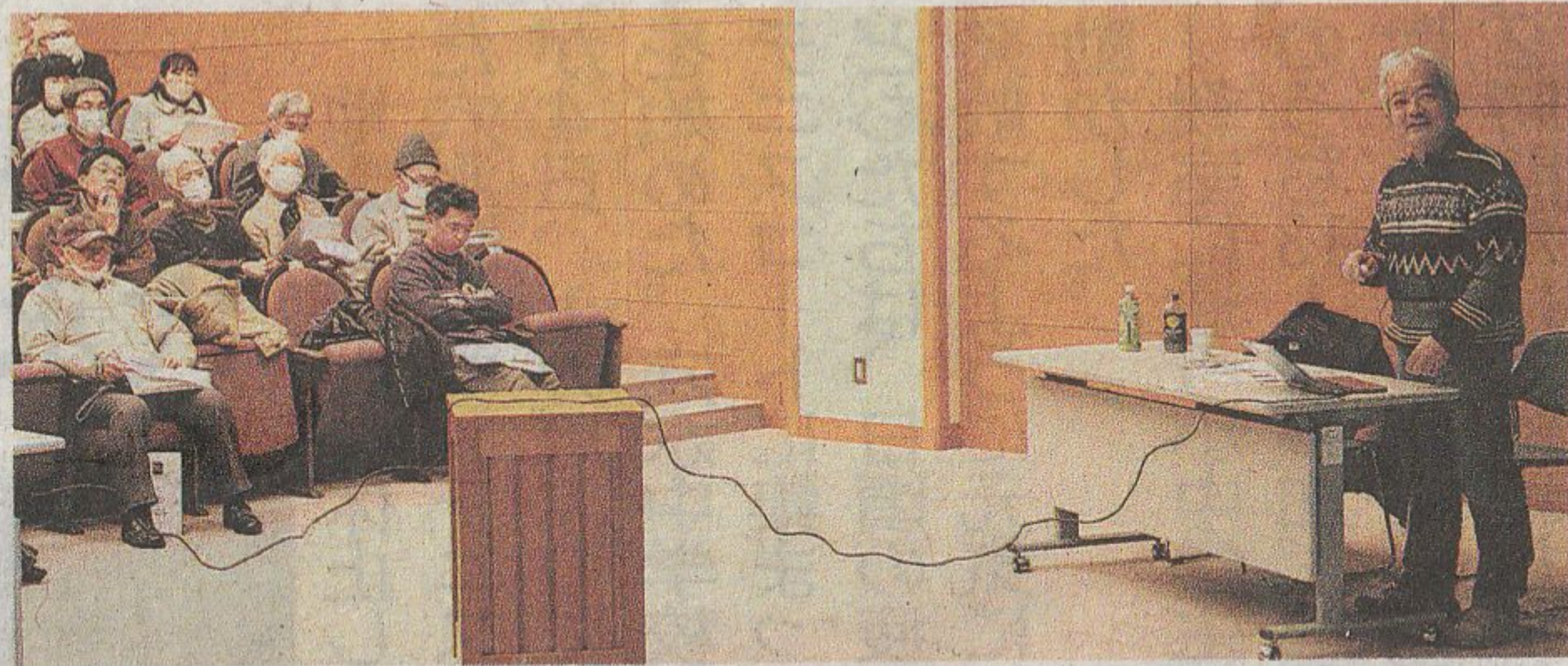
た。

塚脇教授は、金沢市や富山県内などにあるさまざまな時代の地層について紹介。約2千万年前に日本海の形成が始まって以来、日本海側では火山の噴火や海面の昇降が相次ぎ、「浅くなったり深くなったりを繰り返しながら現在に至っているのでは」と指摘した。

能美市内には石切り場跡が散在し、地元の石を用いた古墳もあるとして「地質学的な背景を基に、石の文化の包括的な記録に基づく保護保全を考えるべきだろう」と話した。

建築家や石材業者、郷土史家らでつくる「能美の里山ジオの会」が開催。市民約90人が聴講した。

(平野誠也)



北陸の地層について解説する塚脇真二教授(右)＝能美市辰口図書館で